



第2期嵐山町
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

2021  2025



■ 目次

1. 第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって

1) 計画策定の趣旨と改定の経緯	1
2) 国の基本的な考え方	1
3) 総合戦略とは	2
4) 計画の期間	2
5) 進行管理体制	2
6) 基本の方針	3

2. 第2期嵐山町総合戦略の体系

3. 第2期嵐山町総合戦略

基本目標1 雇用をつくる	5
基本目標2 人の流れをつくる	7
基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる	9
基本目標4 住みよい環境をつくる	11

1. 第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって

1) 計画策定の趣旨と改定の経緯

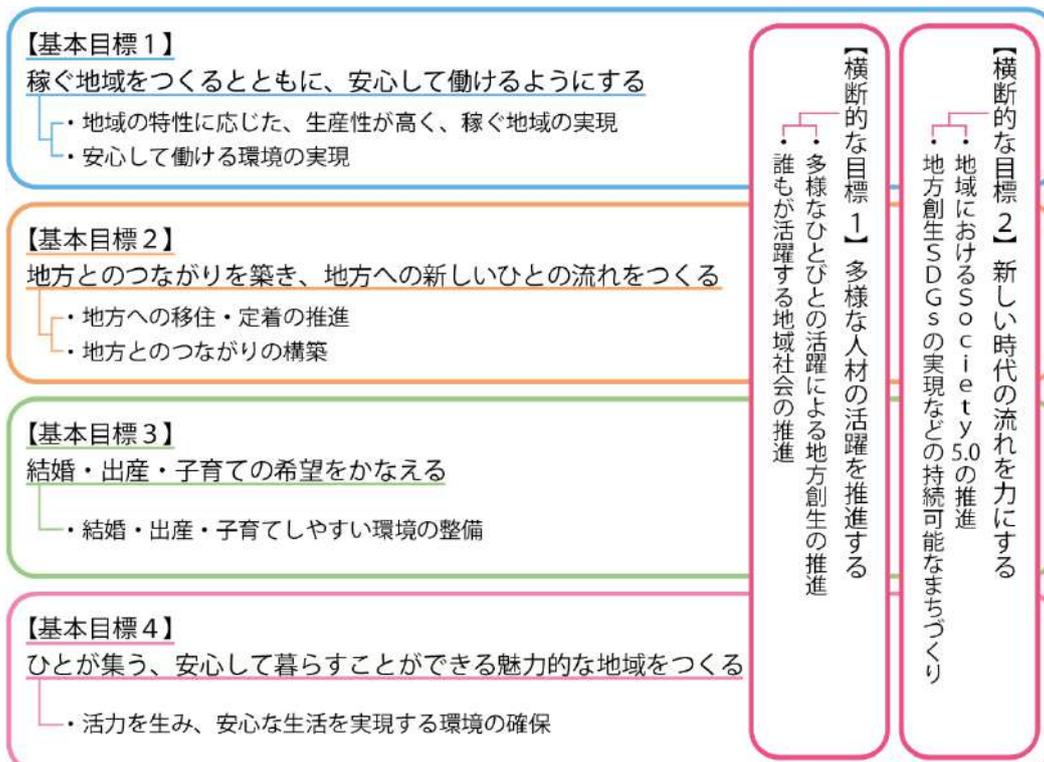
国では、平成20年(2008)の1億2,800万人をピークとして人口減少社会となりました。町では、これまでに工業団地の整備、土地区画整理事業など就労の場の創出や住宅地の供給などを積極的に行ってまいりましたが、国よりも8年早い、平成12年(2000)の19,816人をピークに人口減少が始まりました。

「まち・ひと・しごと創生法」の制定や国、県の動きを踏まえ、町では重要課題である少子高齢化や人口減少への対策を推進するため、平成27年(2015)に「嵐山町人口ビジョン及び嵐山町総合戦略」を策定し、就労・人口減少対策として、子育て世帯等転入奨励事業や地域活力創出拠点である嵐山町ステーションプラザ「嵐なび」、子育て世代包括支援センターの開所などを行いました。令和2年(2020)の人口は、人口ビジョンの目標人口を上回る見込みですが、令和元年(2019)の合計特殊出生率は0.87であり、引き続き人口減少対策を重要課題として行っていく必要があります。

この戦略は令和2年度で終了しますが、人口減少の抑制や持続可能な地域社会を実現するためには、これに資する各種施策を切れ目なく推進する必要があります。このため、これまでの取組の検証結果や社会情勢の変化、町の財政状況等を踏まえ「第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

2) 国の基本的な考え方

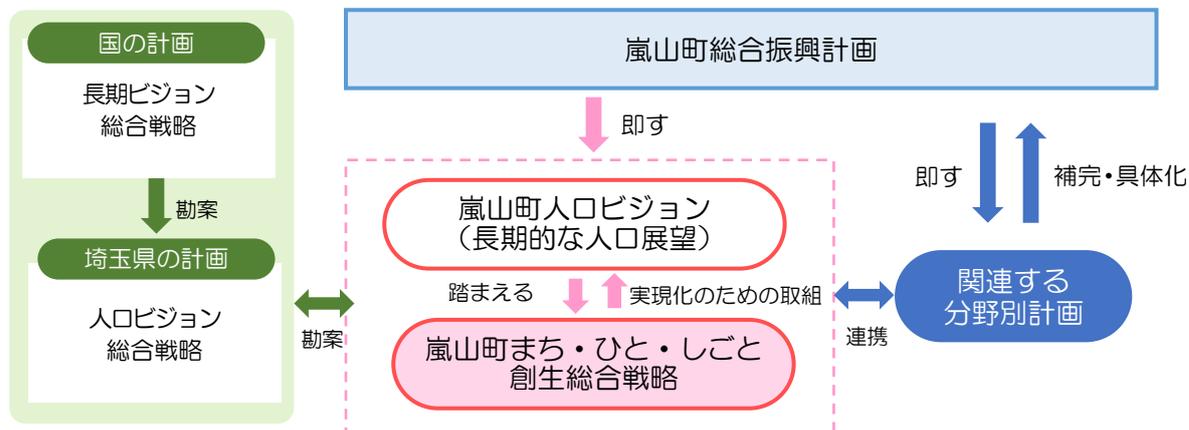
国においては「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正を目指すため、次の4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取組を推進するとしています。



3) 総合戦略とは

総合戦略は、町の最上位計画である「第6次嵐山町総合振興計画」に即し、人口減少対策や地域経済の活性化に重点を置いた計画として策定するものです。

■総合振興計画と総合戦略の位置づけ



4) 計画の期間

本計画期間は、令和3年度から7年度の5年間とします。

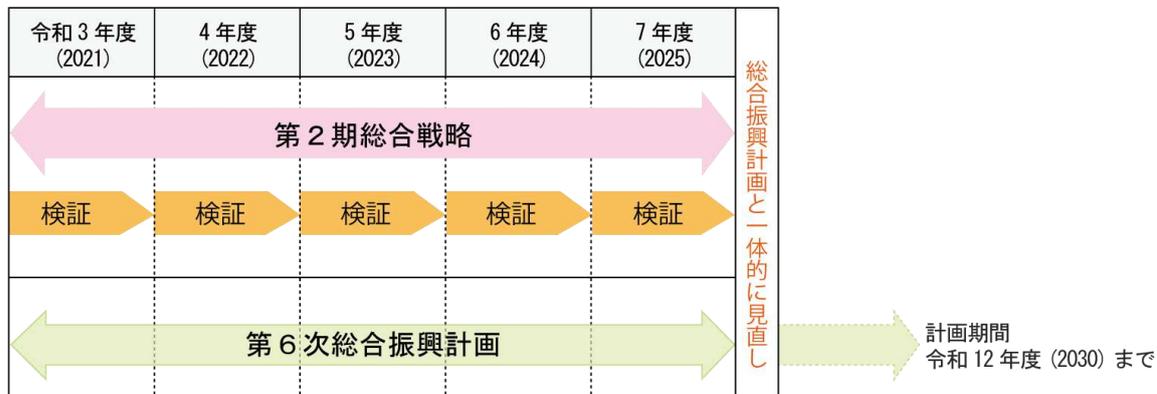
5) 進捗管理体制

第6次嵐山町総合振興計画と一体的に進捗管理を進めることにより、検証・事務事業管理などの効率化を図るとともに、効果的な事業の推進に努めます。

各事業については、毎年度実施する検証に基づきながら、国や県の財政支援制度に応じて柔軟に見直しができる体制を作ります。また、町の財政負担を軽減し、社会情勢に応じた迅速な対応を目指します。

計画の策定や改訂・検証については、行政のみならず町民や各種団体を始め、産業界、教育界、金融機関、マスコミ、労働機関、知識経験者等により検討を行います。

■計画期間と進捗管理体制



6) 基本的方針

少子高齢化の急速な進展に加え、地域経済の縮小、激甚化する災害への対応、新たな感染症対策における迅速な行政運営など課題が山積しており、町では予想を超えるスピードで変化する社会情勢への対応が求められています。

今後も、「嵐山町人口ビジョン」に示す長期的な将来人口の実現のため、また町の活力を維持し持続可能なまちづくりを行うため、生産年齢人口を中心とした定住人口の確保や出生率の向上が重要です。町では次の3つの基本的方針のもと、町の資源（観光・文化・人材など）を有効に活用した「嵐山町らしい」取組を行っていきます。

方針1 活力と生きがいを創出する

嵐山町のみならず比企地域の多くは就職や結婚、出産などのライフステージの変化を機に若者が町外に転出してしまうケースがあります。そのため、安定的な就業先の確保が課題となっています。工業団地等の整備による企業誘致、既存企業や創業者への支援、町の特色を生かした農業を中心とした産業の活性化などにより雇用を確保します。また、点在する観光資源の連携や効果的な情報発信により、観光客や関係人口を増やし、地域の活性化や新たなビジネスチャンスの創出を図ります。

方針2 子ども達の未来を創出する

子育て世代の転出を防止し、転入を促進するためには、結婚・出産・子育てに希望が持てる環境が求められます。誰もが安心して子どもを生み育てられる環境を整備するため、子育て世代の総合窓口である子育て世代包括支援センターにおいて妊娠・出産から育児までのワンストップの支援を行うとともに相談体制の充実を図ります。また、教育・保育の確保や質の向上、地域ぐるみの子育て支援や子どもの遊び場の充実を推進することで、子育ての場として選ばれる町となることを目指します。

方針3 住みよい豊かな環境を創出する

町に住む人が「住んで良かった、これからも住み続けたい」と感じられるまちづくりを推進することにより定住人口の維持・増加を図ります。人が集い、魅力的な暮らしを提供するため、武蔵嵐山駅周辺の整備や活用、美化清掃活動への支援などを行います。また、地域の自主組織や消防団への支援や公共施設等の統廃合を含めた維持管理により、防犯、防災に強く持続可能で質の高いまちづくりを推進します。

2. 第2期嵐山町総合戦略の体系

本計画においては、国及び県の総合戦略を踏まえ、国が示す政策分野に対応して設定した4つの基本目標を柱とし、目標を実現するための基本的方向を示すとともに、具体的な施策を位置づけます。

■ 施策の体系

基本目標	主な施策	具体的施策の内容
雇用をつくる	農業を中心とした産業の推進	農業を中心とした産業の新たな展開
	新たな企業誘致と町内企業への支援による雇用の場の確保	新たな企業誘致による産業活性化 町内企業や創業者への支援
	潜在的な働き手の確保	女性・高齢者への就業支援
人の流れをつくる	積極的な情報発信による知名度の向上	SNSやマスメディアの積極的な活用
	駅前を拠点とした新たな賑わいの創出	武蔵嵐山駅周辺の活性化
	観光×農業による地域資源の魅力創出	観光地等におけるインターネット環境の整備 嵐山溪谷バーベキュー場・学校橋河原周辺の活用 地域資源の活用 武蔵嵐山の再生
安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる	結婚・妊娠・出産への総合的な支援	結婚する機会の拡充 妊娠・出産に伴う総合的な支援
	子育て支援の充実	適切な子育て支援情報の提供 子ども・子育て支援の充実 子育て世帯への経済的支援の充実 相談体制の充実 子どもの遊び場の充実
住みよい環境をつくる	武蔵嵐山駅周辺エリアの充実	武蔵嵐山駅前施設の整備ときれいな駅の維持管理 駅周辺の活性化
	安全・安心な地域づくりへの取組	防火・防災対策への取組 防犯対策への取組
	持続可能なまちの機能の充実	きれいな生活環境の維持管理 公共施設の維持管理と利活用

■ 計画の構成

基本目標・基本的方向: 総合戦略の4つの分野ごとの、目指す姿を実現するための方針を示します

数値目標: 基本目標に対する成果指標を示します

施策の内容: 基本目標を実現するための主な施策及び具体的施策の内容を示します

重要業績評価指標(KPI): 具体的施策に対する成果指標を示します

3. 第2期嵐山町総合戦略

基本目標1 雇用をつくる <安心して、いきいきと働けるまち>



■数値目標

	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度)
町内総生産額	85,652 百万円	90,000 百万円
納税義務者数	8,276 人	8,500 人

■基本的方向

○農業を中心とした産業の活性化を図ります

農業は嵐山町だけでなく日本の食の維持、雇用の維持のため大変重要な産業です。町の特色を生かし、付加価値の高い農産物の生産や特産品の開発、6次産業化を進め、持続可能な産業としての確立を目指します。

○新たな企業誘致や町内企業への支援により安定した雇用を創出します

これまでも関越自動車道「嵐山小川インターチェンジ」や国道254号などによる恵まれた交通アクセスや丘陵地であることによる強固な地盤などの強みを活かし、花見台工業団地や越畑地区など積極的に産業用地の整備を進めてきましたが、さらに周辺の田園環境と調和した産業用地の確保を進め、新たな企業誘致を推進します。経営改善や後継者の育成、人材のマッチング等により町内企業を支援し、新たな創業者や新事業・新分野に進出する第二創業者を支援します。

○就労機会の拡充を図ります

勤労意欲のある高齢者や子育てを機に就業を諦めてしまうことの多い女性が、働きやすい環境づくりを支援します。

■施策の内容

主な施策	具体的施策の内容
農業を中心とした産業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○農業を中心とした産業の新たな展開 <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業商品の販売による農業者・加工業者の所得向上 ・観光農業の推進 ・農業の持続による自然環境の保全
新たな企業誘致と町内企業への支援による雇用の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな企業誘致による産業の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・花見台工業団地拡張地区における産業用地の確保 ・川島地区における産業用地の確保 ・インターチェンジ周辺地区、鎌形地区、平澤地区及び主に交通利便性の高い地域を土地利用活性エリアと定め、企業が求める立地要因や立地条件を的確に捉えた新たな産業用地の確保 ・民間遊休地の情報収集に努め、有効な土地利用を推進 ○町内企業や創業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が抱える経営課題等に対応した相談体制や融資制度等による支援 ・新たな創業者や第二創業者への支援
潜在的な働き手の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○女性・高齢者への就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・保育の充実など就業しやすい環境づくり ・シルバー人材センターへの支援

■施策に対する指標（重要業績評価指標：KPI）

重要業績評価指標（KPI）	令和元年度実績値	令和7年度目標値
農産物直売所における農業者の売上高	179 百万円	200 百万円
嵐山産小麦農林 61 号を使った商品の売上高	24,174 千円	70,000 千円
企業誘致事業による立地及び拡張企業数(累計)	—	3 件
新規創業者数及び第二創業者数(累計)	—	3 件
人材確保のためのマッチング支援事業実施数(累計)	—	3 件
待機児童数	9 人	0 人
千年の苑ラベンダー農園による経済効果	175,555 千円	161,310 千円 (令和3年度)
千年の苑ラベンダー農園の来場者数	75,646 人	100,000 人 (令和3年度)
千年の苑観光手芸用施設利用者数	156 人	1,420 人 (令和3年度)

※国の地方創生交付金を活用した「千年の苑」関連の指標は、申請時に設定した最終目標年度を掲載しています。

基本目標2

人の流れをつくる <地域資源を活かした魅力あるまち>



■数値目標

数値目標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度)
公式ツイッターフォロワー数	1,263人	3,000人
入込み観光客数の増加	436,163人/年	480,000人/年

■基本的方向

○町の知名度の向上を図り、嵐山町を応援してくれる人の増加を目指します

町に住む人や町を訪れる人に向けて、新聞・テレビなどのマスメディアの他、ホームページやSNSなどを積極的に活用し、町の魅力の発信と知名度の向上を図ります。

○嵐山町への観光客を増やし、関係人口の増加を図ります

地域活力創出拠点である「嵐なび」や駅周辺の活用を図ります。また、点在する観光資源を活用し観光客や関係人口を増加させることで、地域の活性化や新たなビジネスチャンスの創出を図ります。さらに、インターネット環境の整備、外国からの観光客への案内の充実など多様なニーズに対応できる環境づくりを進めます。

○観光地域づくり法人(DMO)の登録を目指す観光協会と連携し地域の活性化を図ります

マーケティングやブランディング、商品造成、販路の開拓・拡大、観光資源の発掘、幅広い地域間連携など「地域商社」として町の総合的なプロデュースを行います。嵐山渓谷バーベキュー場、千年の苑ラベンダー園、農林61プロジェクト、学校橋河原周辺を柱とした町の観光資源を利用し地域の活性化を図ります。

■ 施策の内容

主な施策	具体的施策の内容
積極的な情報発信による知名度の向上	○ SNSやマスメディアの積極的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、SNS を活用した情報発信 ・ テレビ、新聞等のマスメディアの活用
駅前を拠点とした新たな賑わいの創出	○ 武蔵嵐山駅周辺の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活力創出拠点「嵐なび」の活用 ・ 武蔵嵐山駅周辺の整備 ・ 駅周辺を活用した居場所づくり
観光×農業による地域資源の魅力創出	○ 観光地等におけるインターネット環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 快適につながるインターネット環境の整備 ○ 嵐山渓谷バーベキュー場・学校橋河原周辺の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験型アクティビティの導入 ・ 河川利用形態の検討 ○ 地域資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光農業の推進 ・ 杉山城跡など貴重な地域資源である史跡群等の認知度向上と観光資源としての活用 ・ 国立女性教育会館との連携 ○ 武蔵嵐山の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵嵐山の景観に誇りと愛情を持ち、多くの方が楽しめる環境の維持管理

■ 施策に対する指標（重要業績評価指標：KPI）

重要業績評価指標（KPI）	令和元年度実績値	令和7年度目標値
嵐山渓谷バーベキュー場の来客者数	73,884 人/年	100,000 人/年
杉山城跡の来客者数	11,300 人/年	12,000 人/年
ホームページ閲覧回数(DMO 開設サイト)	—	660,000 ヒット
交付対象事業による施設の利用者数(DMO)	—	161,500 人
交付対象事業による売上高(DMO)	—	71,928 千円
地元産品による新規開発商品数(DMO)	—	9 商品
地域活力創出拠点の物産売場での売上高	2,391 千円	61,020 千円 (令和3年度)
地域活力創出拠点の来客者数	327,000 人	339,000 人 (令和3年度)
地域活力創出拠点の観光情報発信による経済効果	187,437 千円	255,270 千円 (令和3年度)

※国の地方創生交付金を活用した「地域活力創出拠点」関連の指標は、申請時に設定した最終目標年度を掲載しています。
 ※DMO 交付対象事業は、千年の苑ラベンダー園、嵐山渓谷バーベキュー場（新規事業分）、学校橋河原周辺で実施される事業のことです。

基本目標3

安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる
〈親子の笑顔があふれるまち〉



■数値目標

数値目標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度)
合計特殊出生率	0.87	1.13 (令和5年度)
地域子育て支援拠点の年間利用者数	4,806人	5,700人

■基本的方向

○結婚の機会拡大と安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます

結婚につながる取り組みを支援します。また、妊娠・出産・子育て期における相談や訪問などのサポート体制を充実し、母子の健康を守るよう支援します。

○夢と希望を持って成長していけるまちを目指します

「嵐山町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どものための質の高い教育・保育の確保、地域で安心して子育てできる環境づくりを目指します。子育て世代へ適切な支援情報を提供します。

■施策の内容

主な施策	具体的施策の内容
結婚・妊娠・出産への総合的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚する機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・結婚を希望する方への支援 ○妊娠・出産に伴う総合的な支援 <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦、母子の健康診査の充実 ・各種訪問や相談体制等の充実 ・地域療育によるきめ細かい支援 ・予防接種体制の整備 ・不妊治療費の助成
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な子育て支援情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを活用した子育て支援情報の提供 ○子ども・子育て支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・第2期子ども・子育て支援事業計画の実現 ○子育て世帯への経済的支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費の助成対象拡大 ・多子世帯への経済的支援の充実 ○相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点、子ども家庭支援センター、子育て世代包括支援センターによる相談体制の充実 ○子どもの遊び場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・公園の配置や規模の適正化、主たる公園への大型遊具の設置

■施策に対する指標（重要業績評価指標：KPI）

重要業績評価指標（KPI）	令和元年度実績値	令和7年度目標値
乳幼児健康診査受診率	97.5%	100%
法定外予防接種 [※] の受診率	80.8%	85%
待機児童数	9人	0人

※法定外予防接種はおたふく・インフルエンザを基準とします。



■数値目標

数値目標	現状値(令和元年度)	目標値(令和7年度)
転入者数の増加 (社会増減累計)	329人増 (平成28年度～令和元年度)	200人増 (令和3年度～令和7年度)
住みよいと思う割合	76.8%	80.0%

■基本的方向

○武蔵嵐山駅周辺の活性化を図ります

町民が身近に利用できる中心市街地として、武蔵嵐山駅周辺エリアの利便性を高める整備を進めるとともに、活性化に資する活動を支援します。

○安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます

激甚化する自然災害への防災対策とともに、新たな感染症対策など新たな日常に対応した対策が求められています。関係機関・地域住民と連携し、きめ細かな体制の確立を目指します。また、継続的で地域にあった防犯活動を行い、地域が一体となって犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

○持続可能な質の高い暮らしの実現を目指します

自主的な環境保全や美化清掃活動を支援し、美しい景観や自然環境を維持します。公共施設の利用状況や老朽化の状況を勘案し、維持管理や統廃合を計画的に進めます。

■ 施策の内容

主な施策	具体的施策の内容
武蔵嵐山駅周辺エリアの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○武蔵嵐山駅前施設の整備ときれいな駅の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場整備や放置自転車対策 ・ 空き店舗や空き家の活用 ○駅周辺の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺を活用した居場所づくり
安全・安心な地域づくりへの取組	<ul style="list-style-type: none"> ○防火・防災対策への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線や防災訓練による災害時対応の強化 ・ 新たな感染症対策など新たな日常に対応した取組 ○防犯対策への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯活動の支援及び強化
持続可能なまちの機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○きれいな生活環境の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的な環境保全や美化清掃活動の支援 ○公共施設の維持管理と利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設の有効な活用と維持管理

■ 施策に対する指標（重要業績評価指標：KPI）

重要業績評価指標（KPI）	令和元年度 実績値	令和7年度 目標値
武蔵嵐山駅の乗降客数	7,287 人/日平均	8,500 人/日平均
西口駅前広場の整備率	0%	100%
自主防災組織における防災訓練の実施数	35 回/年	36 回/年
災害時用保存食の備蓄量	6,766 食	8,000 食
主体的な道路維持管理団体 (アダプトプログラム及び嵐山まもり隊数)	24 団体	30 団体

第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和3年6月

嵐山町

〒355-0211

埼玉県比企郡嵐山町大字杉山 1030-1

TEL:0493-62-2150

URL:<http://www.town.ranzan.saitama.jp/>

第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

